

校友と美酒鍋を囲んで

広島県支部は今年で、5年目を迎えます。徐々にではありますが、校友の輪が広がっています。

私の故郷である東広島市の西条は、灘、伏見と並ぶ日本有数の酒処です。この西条において、今年で25回目を迎え

る酒祭りという市内最大のイベントがあります。この酒祭りは、毎年10月の土日に、JR西条駅周辺で2日間にわたり開催されます。

県支部では、校友の交流と親睦を深めるため、3年前から、この酒祭りに「美酒

鍋を囲む会」として、参加しています。この美酒鍋とは、酒蔵で働く蔵人の生んだ東広島郷土料理で、日本酒を惜しみなく鍋の中に入れ、塩と胡椒だけで味付けしたシンプルな鍋料理です。これが実におい

広島県支部長 渡辺 高守(昭和49年卒)

しいのです。

平成25年度は、家族を含め9名の参加により美酒鍋を囲みながら、学生時代に舞い戻り、それぞれの時代の思い出話に花が咲き、私も当時の懐かしい大学界隈の情景が思い出され、楽しいひと時を過ごすことができました。

そのあと、西条駅周辺の酒蔵の白壁、赤レンガの煙突が建ち並ぶ、酒蔵通りをほろ酔い気分でぶらりぶらり。毎年、全国から20万人以上が参加する祭りです。もしかしたら、この中に校友の方がおられるのではないかと、そんなことを考えながら、酒の香りと人ごみに酔いしれて、酒蔵通りを散策いたしました。

今後も、このような地域行事に参加し、少しでも、校友の輪が広がることを願って校友会活動を進めていきたいと思っています。

